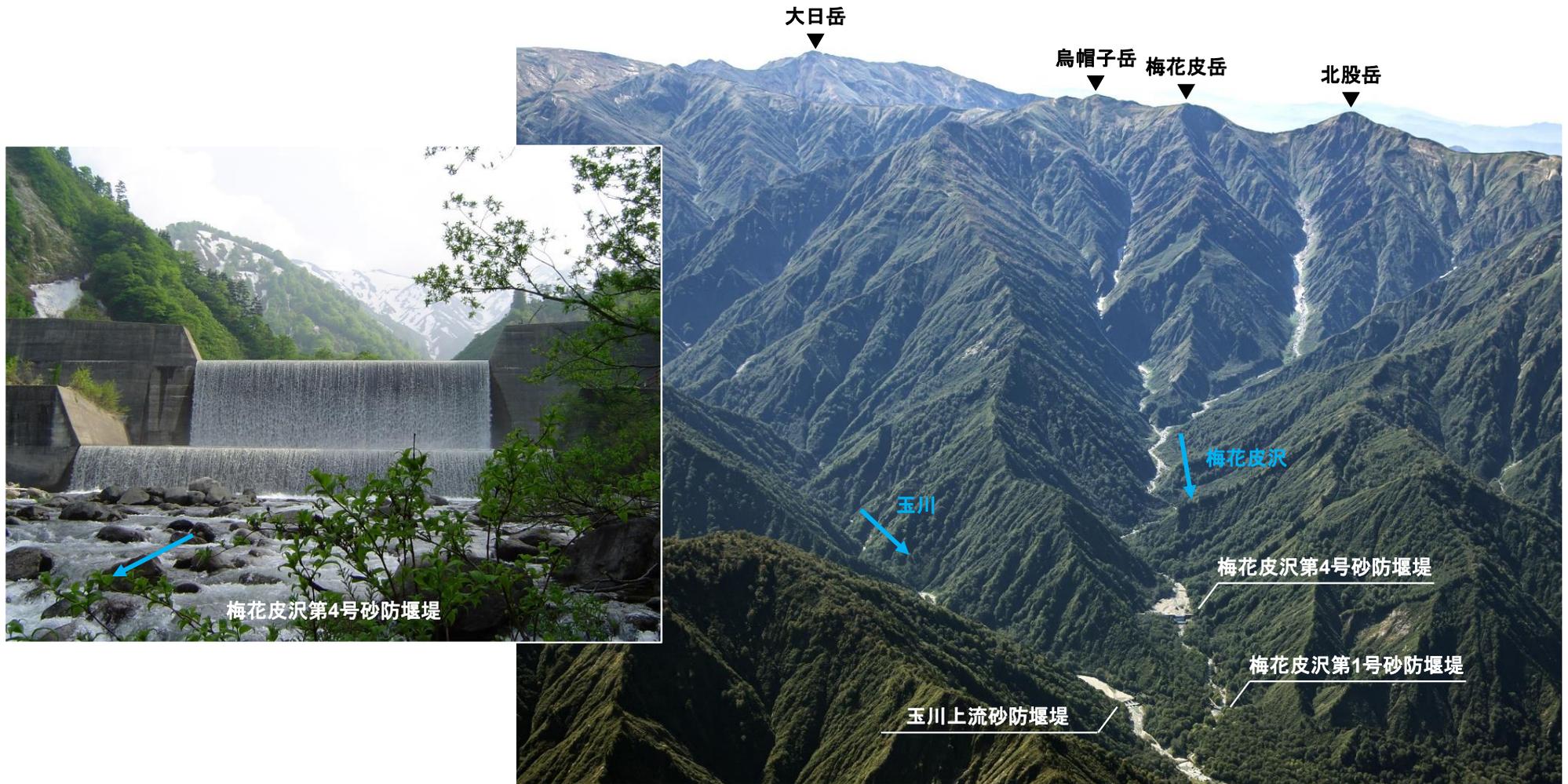


# 令和7年度 事業概要



北陸地方整備局  
飯豊山系砂防事務所

事務所HP



X(旧Twitter)



# 飯豊山系砂防事務所の使命

- 一、地域の人々のくらしと生活を土砂災害から守るため全力を尽くします。
- 一、砂防事業を通じて、活力ある地域づくりに貢献します。
- 一、飯豊山系の豊かな自然環境を大切にし、調和のとれた砂防事業を推進します。

## 使命を果たすための方針

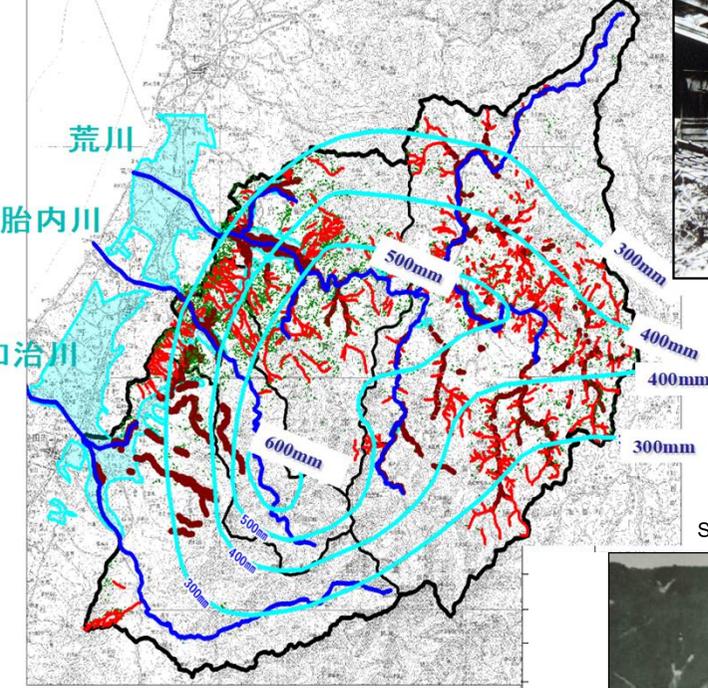
- 土砂災害防止のための砂防事業を推進するとともに、過去の災害を教訓とした危機管理体制の強化を図り、地域と連携して安心、安全の向上に努めます。
- 地域の皆様の思いを踏まえ、環境・観光・健康・教育をキーワードに地域の皆様、関係市町村・機関等と連携して、土砂災害の解消を目指します。
- 飯豊山系・周辺中山間地の豊かな自然は地域の宝であることを認識し、流域に生活する皆様のご意見に耳を傾けながら事業を推進します。



- 昭和42年8月28日に発生した洪水「**羽越災害**」において、荒川、胎内川、加治川流域の各地で土石流や河川はん濫が発生し、流域に甚大な被害を及ぼしました。
- 昭和53年6月26日に胎内川、加治川流域において「**梅雨前線豪雨災害**」が発生したことによりさらに崩壊が進み、土砂災害発生危険性が高くなりました。

## 昭和42年羽越災害

羽越災害の崩落と土砂流出状況



■	崩壊地
■	土石流発生箇所
■	洪水による土砂堆積
■	冠水・浸水

死者・行方不明者64名、全壊・半壊・流出家屋1,919棟、浸水家屋12,627棟の大きな被害を及ぼしました。

温泉街をおそった土石流  
関川村湯沢温泉



川幅が倍以上になった荒川  
S42.8 関川村下関(中心街)上空



流木の山となった小国橋  
S42.8 小国町小坂町(中心街)  
「おおみず(小国町)」より



集落をおそう土石流  
S42.8 胎内市下荒沢(旧黒川村)



## 【S53.6梅雨前線豪雨災害】 (胎内川・加治川流域)

崩落の痕跡 (加治川支溪流)

豪雨により溪流内土砂崩落 (姫田川支川溪流)

豪雨により土砂流出 (姫田川支川溪流)

崩落した流域内 (胎内川中流域)

洪水後の土砂が堆積した寺内川

巨礫が押し寄せた加治川支溪流

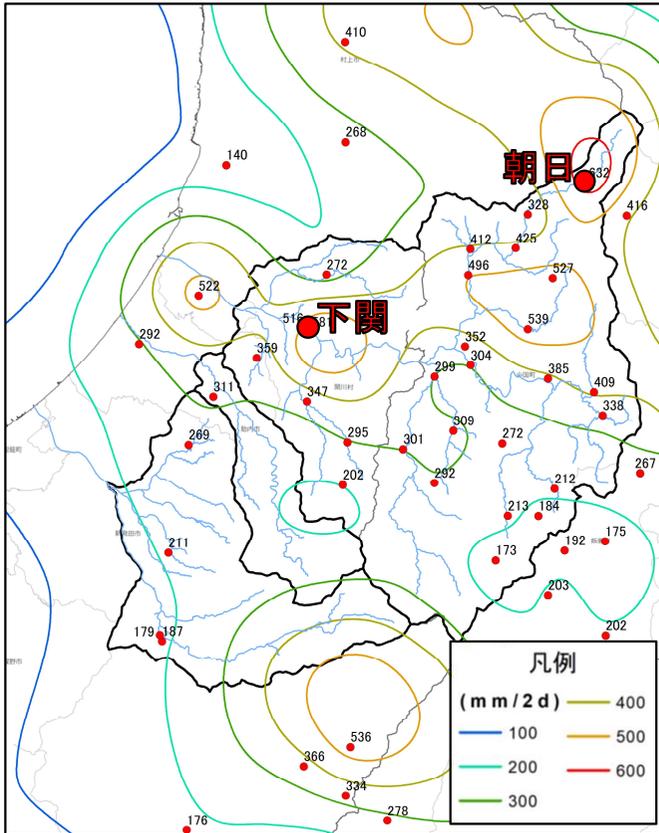
▲砂防基準点

崩落した三光川溪流内

- 令和4年8月3日から4日にかけて前線が日本海から北陸・東北地方に停滞し、断続的に非常に激しい雨が降りました。
- 荒川流域では、3日朝から全域において激しい雨が降り続け、新潟県岩船地域及び山形県西置賜地域では、大雨特別警報が発表されました。

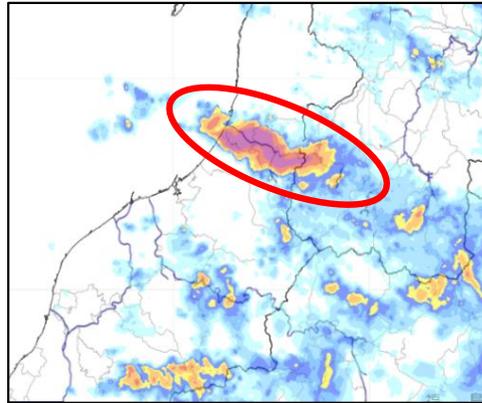
## 令和4年8月3日からの大雨

2日間雨量(令和4年8月3日~4日)



荒川流域では、全域において8月3日朝から雨が激しくなり、降り始めからの48時間累加雨量は、多いところで朝日観測所 648mm、下関観測所 571mmに達するなど広い範囲で記録的な雨量を観測しました。

荒川流域の降雨状況(XRAIN)  
令和4年8月4日2時00分



土砂や流木におそわれた温泉街  
関川村湯沢温泉



荒川本川の水位上昇  
小国町赤芝峡



▲平常時

荒川の砂防基準点付近でも多数の土石流が発生  
荒川頭首工周辺



▲令和4年8月3日17時ごろ



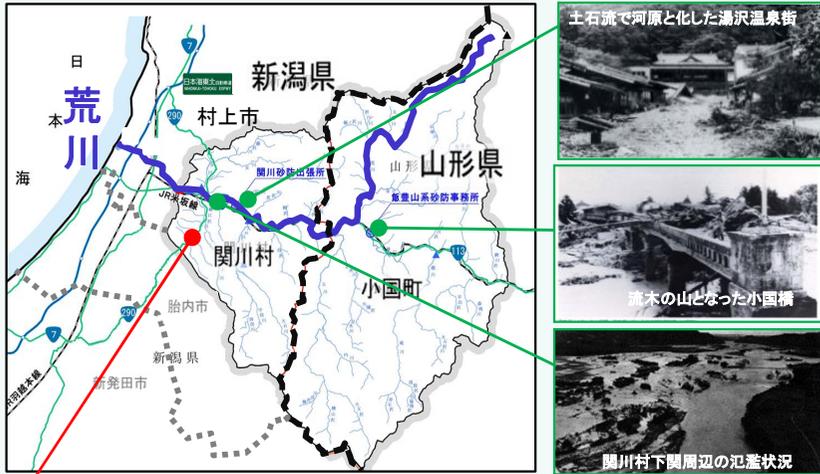
▲令和4年11月3日撮影

# 令和4年8月からの大雨における砂防関係施設の効果事例

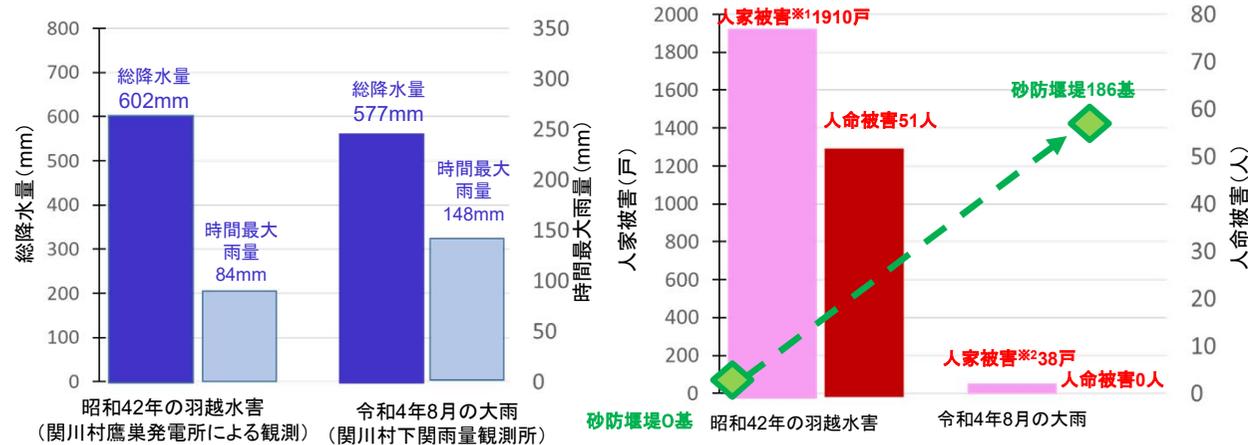
- 山形県、新潟県に跨る荒川流域において、土石流や土砂・洪水氾濫等により甚大な被害が生じた昭和42年の羽越水害を契機に山形県・新潟県の砂防事業や飯豊山系直轄砂防事業に着手し、これまで186基の砂防堰堤を整備。
- 新潟県関川村で総降水量が羽越水害時と同規模、時間雨量は約1.8倍となる等、荒川流域では大雨が観測され39件の土石流が発生したが、この内13件において既設の砂防堰堤により土砂や流木を捕捉する等、土石流被害を軽減。

## 昭和42年の羽越水害による被害状況

○ 羽越水害では同時多発した土石流被害とともに、荒川本川へ大量に流出した土砂による土砂・洪水氾濫被害が上下流域で発生。



## 降水量と被害状況等の比較



※1 全壊、半壊を計上 (砂防学会誌 1998, Vol.50, No.6より)  
 ※2 全壊、半壊、一部損壊を計上 (新潟県の報告より)

## 令和4年8月の大雨における施設効果事例

○ 土石流が発生した下土沢地区及び下鎌江沢地区の2件では、5基の砂防堰堤が2地区・13戸の人家を保全したと推計



### 代表事例① 下鎌江沢



### 代表事例② 下土沢



# 令和4年8月からの大雨における砂防関係施設の効果事例

## 土砂捕捉を確認した砂防堰堤 位置図



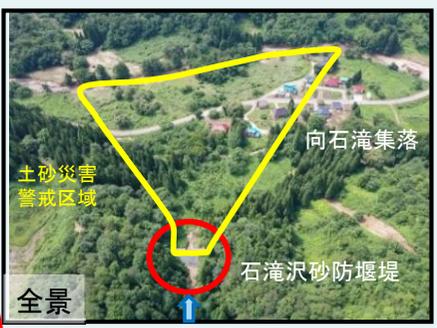
### 明沢川第3号砂防堰堤

災害発生日：令和4年8月3日(調査中)  
 降雨状況：連続雨量 409mm (8月3日7時～4日9時)  
 時間最大雨量 71mm (8月3日12時～13時)  
 ※明沢川雨量観測所  
 発生箇所：山形県西置賜郡小国町沼沢  
 崩壊状況：土石流捕捉量 約5.1万m<sup>3</sup>



### 石滝沢砂防堰堤

災害発生日：令和4年8月3日  
 降雨状況：連続雨量 549mm  
 (8月3日7時～4日8時)  
 時間最大雨量 68mm  
 (8月3日17時～18時)  
 ※三体山雨量観測所  
 発生箇所：山形県西置賜郡小国町石滝  
 崩壊状況：土石流捕捉量 約1,260m<sup>3</sup>



### 小小倉沢下流砂防堰堤

災害発生日：令和4年8月3日  
 降雨状況：連続雨量 549mm  
 (8月3日7時～4日8時)  
 時間最大雨量 68mm  
 (8月3日17時～18時)  
 ※三体山雨量観測所  
 発生箇所：山形県西置賜郡小国町中野  
 崩壊状況：土石流捕捉量 約300m<sup>3</sup>



- ・昭和42年の羽越災害を契機として、荒川の直轄砂防事業に着手しました。
- ・昭和53年の集中豪雨を契機として、胎内川・加治川流域の直轄砂防事業に着手しました。胎内川流域の直轄砂防事業については、事業の進捗により一定の安全度が確保されたことから、令和元年度に新潟県に移管しました。
- ・流域の多くが崩壊地や地すべり地帯であり、なおかつ豪雪地でもあるため、土砂流出の危険性を持っています。
- ・飯豊山系直轄砂防流域の下流域での土砂による被害をなくすため、砂防事業の進捗をはかっています。

## 【管内流域の概要(全体)】

1) 直轄砂防流域面積

荒川	1,072km <sup>2</sup>
加治川	336km <sup>2</sup>
計	1,408km <sup>2</sup>

## 2) 土石流危険渓流数

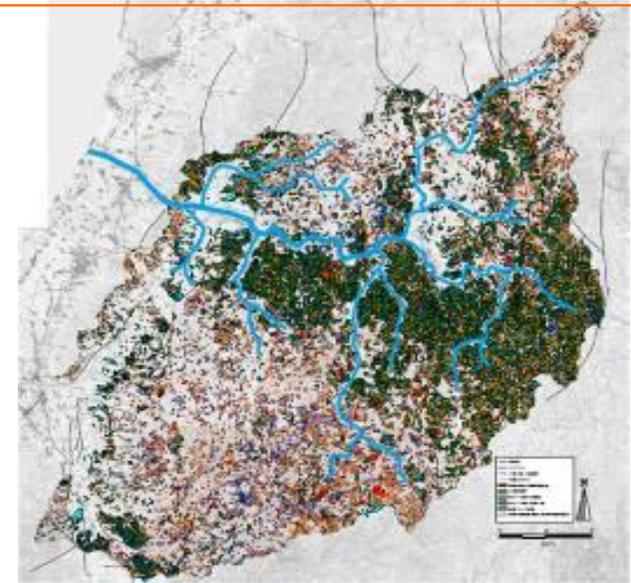
※氾濫域の人家が5戸以上もしくは、公共施設等を含む渓流

山形県	55渓流
新潟県	79渓流
計	134渓流



## 管内微地形判読図

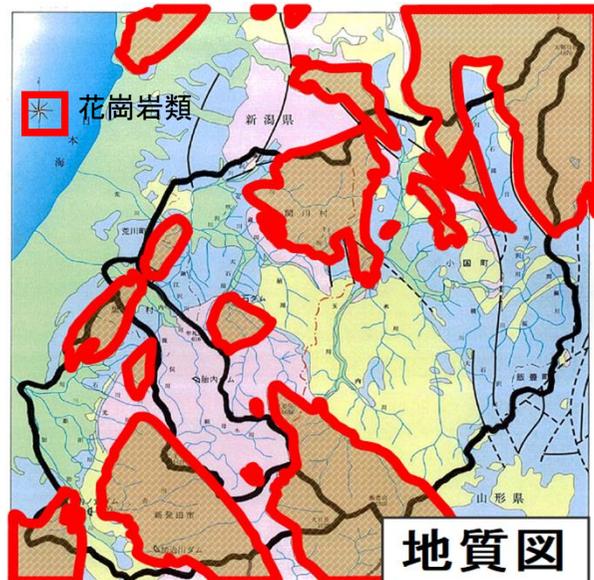
地すべり地形が多く分布しており、羽越災害のような大規模な豪雨時において崩壊・土砂流出の危険性が大きい。



●崩壊・地すべり多発地帯  
流域の多くが風化・破碎の進む花崗岩類で崩れやすい。

●急流河川  
主要幹川の河床勾配は約1/20～1/30

●多雨・豪雪地帯  
年間降水量は約3,000mm、降雪期には積雪深が約2mにもなる多雨・豪雪地帯である。  
土砂生産・流出しやすい自然条件を備えている。



## 飯豊山系砂防事業の実施方針

### 【長期目標: 全体の計画】

- ・下流域沿川地域の氾濫被害をなくす。
- ・土石流災害による人的・財産被害をゼロにする。

### 【中期目標: 概ね30年間※】

- ・既往最大の土砂災害の昭和42年羽越災害規模の土砂災害に対して、流域の安全を確保する。

上記を目標に砂防事業を進めて行きます。

※中期目標は平成23年から概ね30年間

## ●飯豊山系砂防事業の事業費内訳

(単位:百万円) 業務取扱費を除く

事業区分		①令和5年度 補正	①令和6年度	②令和6年度 補正	③令和7年度	伸率(②+③)/① [伸率③/①]
直轄砂防事業費	山形県	530.000	758.000	370.000	720.000	1.44 [0.95]
	新潟県	465.000	499.000	240.000	476.000	1.43 [0.95]
	合計	995.000	1,257.000	610.000	1,196.000	1.44 [0.95]

## ●令和7年事業箇所数(水系別)

河川名	実施箇所数		
	継続	新規	計
荒川	8	1	9
加治川	3	0	3
合計	11	1	12

## ●令和7年事業箇所数(市町村別)

市町村名	令和7年度			
	新規	継続	計	うち完成
小国町	0	6	6	0
関川村	1	2※	3	0
胎内市	0	1※	1	0
新発田市	0	3	3	0

※:荒川下流土砂・流木対策砂防堰堤改築:2市町村(関川村、胎内市)に跨る施設有り

飯豊山系砂防事務所は、流域治水の考え方のもと、砂防施設の整備を推進しています。

令和7年度は、12箇所において事業を実施し、下流域沿川地域の土砂災害に対する安全度の向上を図るとともに、人家・公共施設に対する直接的な土砂(土石流)災害を防止します。



## 【山形県】(6箇所)

### [西置賜郡小国町]

- すぎたちさわ どしゃりゅうしゅつたいさく
- 1. 杉立沢土砂流出対策
- あらかわじょうりゅう さぼうえんていしせつかいちく
- 2. 荒川上流砂防堰堤施設改築(3工区)
- おがわさわ さぼうえんてい
- 3. 小川沢砂防堰堤
- おおたきがわ さぼうえんていぐん
- 4. 大滝川砂防堰堤群
- かいらぎさわだいごごう さぼうえんてい
- 5. 梅花皮沢第5号砂防堰堤
- たまがわりゅう さぼうえんてい
- 6. 玉川下流砂防堰堤

## 【新潟県】(6箇所)

### [新発田市]

- たきたにさわ さぼうえんていぐん
- 7. 滝谷沢砂防堰堤群
- なかなかやまさわ さぼうえんてい
- 8. 中中山沢砂防堰堤
- かじかわ さぼうしせつかいちく
- 9. 加治川砂防施設改築

### [岩船郡関川村]

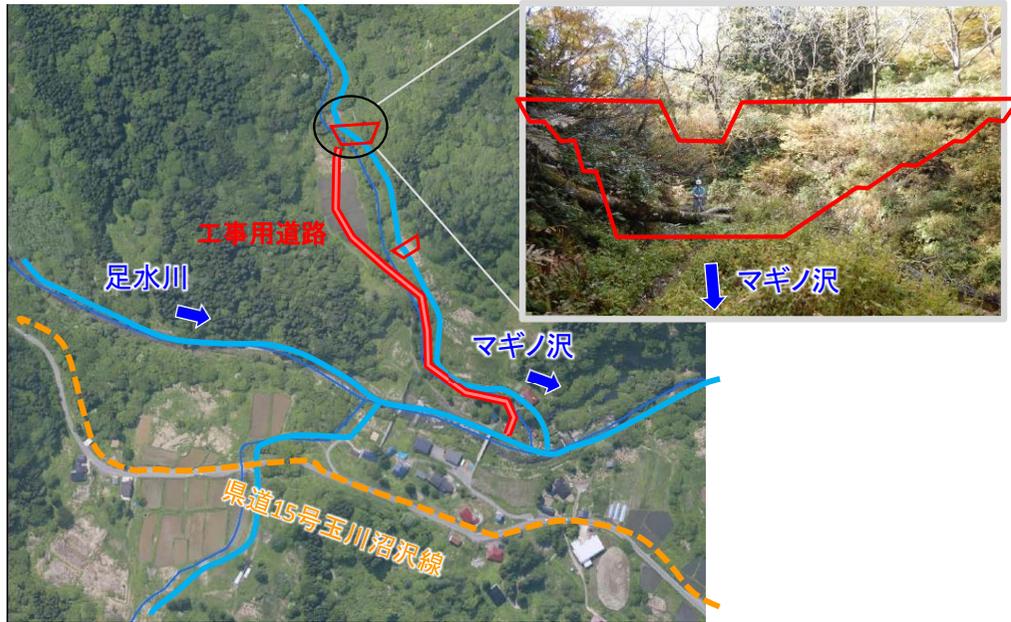
- ふじさわがわだいさんごう さぼうえんてい
- 10. 藤沢川第3号砂防堰堤
- あらかわかりゅう どしゃりゅうぼくたいさくさぼうえんていかいちく
- 11. 荒川下流土砂・流木対策砂防堰堤改築(3工区)
- ゆさわちくさぼうえんていぐん
- 12. 湯沢地区砂防堰堤群

### [胎内市]

- あらかわかりゅう どしゃりゅうぼくたいさくさぼうえんていかいちく
- 11. 荒川下流土砂・流木対策砂防堰堤改築(1工区)

[11…2市町村(関川村、胎内市)に跨る施設有り]

**小川沢砂防堰堤** (西置賜郡小国町菅沼地先)



**荒川上流砂防堰堤改築** (西置賜郡小国町入折戸地先)



**藤沢川第3号砂防堰堤** (岩船郡関川村中東地先)



**中中山沢砂防堰堤** (新発田市中々山地先)



★女川4号砂防堰堤(新潟県関川村)  
ワークショップにより堰堤のデザインを検討



★荒川流路工(山形県小国町)  
小国町の「白い森構想」と連動し、地域活性化に寄与

★玉川上流整備【梅花皮沢】(山形県小国町)  
土砂流出の多い梅花皮沢へ砂防施設を設置

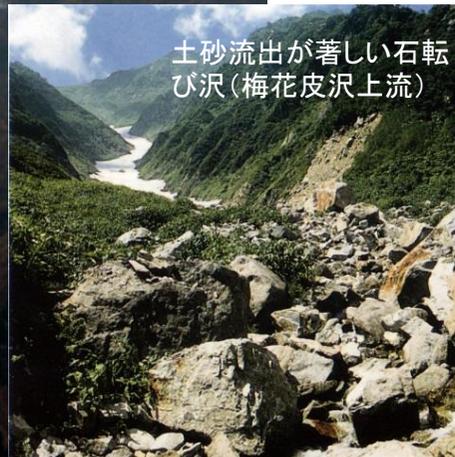
玉川上流第2号砂防堰堤  
(H1完成)

梅花皮沢第4号砂防堰堤

玉川上流砂防堰堤  
(H4完成)

梅花皮沢第1号砂防堰堤

土砂流出が著しい石転び沢(梅花皮沢上流)

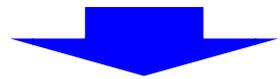


★玉川スーパー暗渠砂防堰堤  
(山形県小国町)  
景観・環境に配慮した堰堤



# 施設効果事例【<sup>かいらぎさわ</sup>梅花皮沢第4号砂防堰堤（<sup>おぐに</sup>山形県小国町）】

- 梅花皮沢は、荒廃した山地（飯豊連峰）からの流出土砂が著しい
- 流れた土砂が川にたまと、川底が高くなって流せる水量が減り、あふれやすくなる



- 荒廃した山地からの流出土砂をコントロール
- 下流河川における河床上昇による洪水氾濫から流域を保全

【施設位置図】

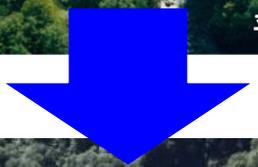


【水系砂防】



【概要】

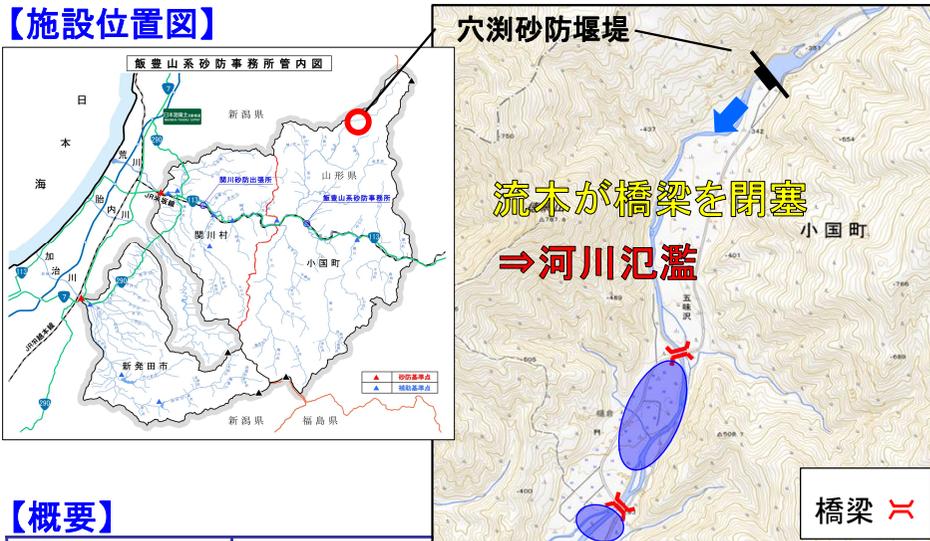
施設名称	梅花皮沢第4号砂防堰堤
施行位置	やまがたけにしおきたまぐんおぐにまちおおあざぬくみだいら 山形県西置賜郡小国町大字温見平
河川名	荒川水系左支玉川左小支梅花皮沢
施行年	昭和50年～昭和55年（12月完成）
諸元	計画種別：水系 流域面積：合計15.5平方キロメートル
構造	重力式、高さ15.0m、長さ211.0m、幅3.3m、立積16,991m <sup>3</sup>



# 施設効果事例【穴渕砂防堰堤（山形県小国町）】

- 鋼製パイプを櫛状に組み立て、流木止めを整備くしじょう
- 大きな出水の度に流出流木を捕捉、流木が橋梁を閉塞することで発生する、下流域（山形県小国町五味沢地区ほか）の河川氾濫を未然に回避

## 【施設位置図】



## ■ 流木の捕捉

大きな出水の度に流木を捕捉



## ■ 流木の撤去



## 【概要】

施設名称	穴渕砂防堰堤
施行位置	やまがたけんにしおきたまぐんおぐにまちおおあざごみさわ 山形県西置賜郡小国町大字五味沢
河川名	荒川水系荒川本川
施行年度	昭和51年～昭和54年 平成13年度に、副堤袖部嵩上げ・流木止め・側壁・護床・魚道横断設置
諸元	計画種別：水系 流域面積：39.4平方キロメートル
構造	重力式 立積：15,320m <sup>3</sup> 高さ：15m 長さ174m 流木止め 高さ：4.5m 長さ：27.5m



流木によって橋梁部が閉塞した事例  
※羽越水害(1967年)時の小国大橋

動画はX(旧Twitter)で配信しています

@mlit\_iidesabo



# 施設効果事例【<sup>しもつちさわ</sup>下土沢砂防堰堤（<sup>いわふね</sup>新潟県岩船郡関川村）<sup>せきかわ</sup>】

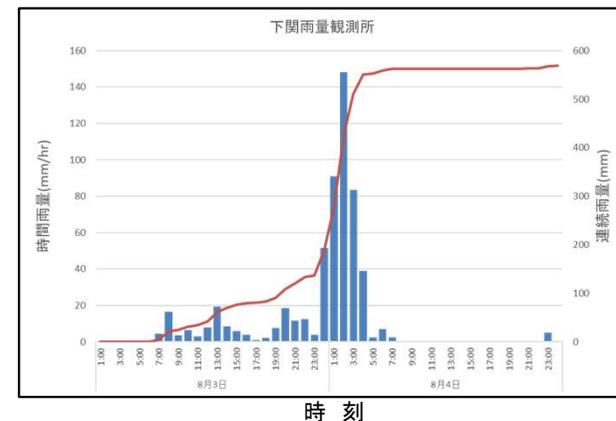
- 令和4年8月3日からの大雨により発生した土石流を下土沢砂防堰堤が捕捉
- 下流保全対象への被害を未然に防止し効果を発揮

## 【施設位置図】



## 【降雨状況】

発生日：令和4年8月4日（推定）  
 降雨状況：  
 しもせき  
 下関雨量観測所  
 連続雨量 582mm  
 （3日1時～4日8時）  
 時間最大雨量 148mm  
 （4日1時～2時）  
 発生箇所：新潟県岩船郡関川村



- 令和4年8月3日からの大雨に伴い、約6,000m<sup>3</sup>の土砂を捕捉（写真中下）



砂防堰堤の諸元  
 堤長 L=55.0m  
 堤高 H=10.0m  
 完成 昭和56年



↑下土沢の流域内では5箇所の崩壊を確認



↑土砂・流木を捕捉、土石流による被害を防止

# 砂防事業と地域創生

## 荒川流路工（小国町の「白い森構想」の中心的施設）

## 梅花皮沢砂防堰堤工事用道路（森林セラピーロード）

平成8年に完成した荒川流路工は、土砂災害から流域を守るとともに、人が川と親しめるスポットとなりました。また、流路工周辺の土地を利用し、優れた自然環境資源を生かしたレクリエーション施設（白い森交流センター“りふれ”・オートキャンプ場など）が地元の創意によって整備されました。

梅花皮沢での砂防堰堤の工事用道路の確保にあたって、ブナ林などの原生林を伐採しないようにルートが選定されました。今もこの道路は飯豊山への登山道として利用され、また「森林セラピーロード」に認定されるなど地域の観光資源として整備され、多くの方々に利用されています。

昭和42年羽越災害後の状況

平成18年撮影



オートキャンプ場

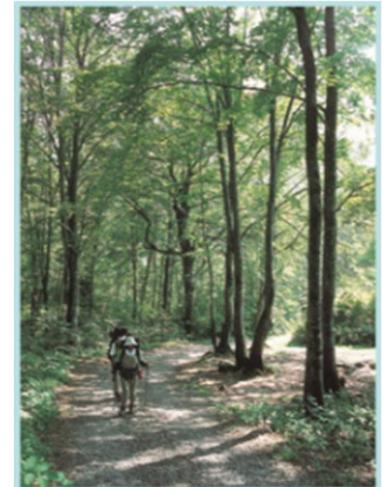


りふれ（レクリエーション施設）

流路工背後地の活用が進み、さまざまなレクリエーション施設が整備されました。



ブナの伐採を避けた工事用道路



工事用道路は、森林セラピーとして多くの人から利用されています。

関係自治体との情報共有化を図り、土砂災害発生等の危険性に関する情報を地域住民にいち早く伝達することが可能となるよう情報基盤整備を推進しています。また、事務所ホームページにより、管内CCTVカメラ画像、雨量、気象に関する防災情報を発信中。

## 飯豊砂防事務所管内情報基盤整備図



自治体とのWeb会議状況



災害時はWeb会議システムを用いて、関係自治体と情報共有を図ります。



荒川流路工に隣接して整備されているオートキャンプ場等の観光施設内に雨量情報表示盤を設置



緊急情報の発信

事務所ホームページにて防災情報発信中  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/iide/>



映像、雨量等のリアルタイム情報の発信



地域住民、観光客等の交流施設(マタギの郷交流館)において、雨量・CCTV映像のリアルタイム情報を提供



X (旧Twitter) も随時更新中  
[@mlit\\_iidesabo](https://twitter.com/mlit_iidesabo)

# 土砂災害に関する啓発活動

関係自治体主催の防災訓練への協力、小学生等住民を対象とした土砂災害に関する防災教育を行うなどの各種啓発活動を実施しています。また、職員の災害時での活動に備えた講習を実施しています。

## 令和7年度広報イベント実施予定

予定日	イベント名	実施場所
4月20日	たいない桜まつり	ロイヤル胎内パークホテル
4月下旬	横山沢上流砂防堰堤 完成お披露目会	横山沢上流砂防堰堤
6月24日	大規模土砂災害を想定した合同防災訓練	関川村 村民会館大ホール
5月30日～ 6月6日	土砂災害防止月間パネル展(新発田市)	新発田市役所 1階ロビー
6月6日～ 6月13日	土砂災害防止月間パネル展(胎内市)	胎内市役所 1階ロビー
6月13日～ 6月20日	土砂災害防止月間パネル展(関川村)	関川村役場 1階ロビー
6月20日～ 6月30日	土砂災害防止月間パネル展(小国町)	小国町役場 1階ロビー
6月頃	防災教育(関川小学校)	関川砂防出張所
9月21日	胎内市防災訓練(総合防災訓練)	ふれすぽ胎内
10月上旬	令和7年度新発田市総合防災訓練	新発田市内
10月5日	小国町総合防災訓練	小国町大字小国小坂町周辺
10月18日	環境エコカーニバル	新発田市役所札の辻広場
10月19日	胎内市防災訓練(地震・津波)	胎内市内
10～11月	あらかわ治水砂防巡り	管内

## 令和6年度実績



地元小学生向けの出前講座 (R6.6.13)



過去の災害と防災対策を学ぶインフラツアー  
『あらかわ治水砂防巡り』 (R6.11.3)

動画ver.は  
こちらから



## UAVを活用した施設点検

・ニダイ林沢第1号砂防堰堤



撮影写真を拡大し  
縦打継目漏水を  
確認

条件がよければ、人力点検と比べても遜色  
ない変状確認が可能

【参考】

人力点検に  
よる変状確認

令和2年度より、作業の安全確保、点検効率の向上を図るべく  
UAV点検を試行的に行い、従来の人力点検との比較検討を実施。

・穴淵砂防堰堤



人力点検では渡河不能のため撮影箇所へ  
到達できず、変状の確認が困難



UAV点検では、近接撮影により漏水を確認

## ICT技術の活用



3Dスキャナー  
による起工測量



測量・設計データを入力



オペレーターはタッチパネルを  
確認しながら操作を実施



(NETIS) 杭ナビシヨベル



施工後のGNSSローバーによる高さ確認

衛星の捕捉状況が悪い現場においては、『杭ナビシヨベル』等を  
活用し、ICT技術を活用。

## 遠隔臨場対応(検査や立ち会い)の実施

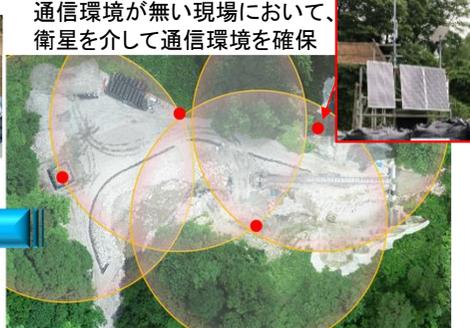


事務所内から遠隔臨場



コンクリートの  
出稼量計測

土質改良  
BHツインヘッダー連携



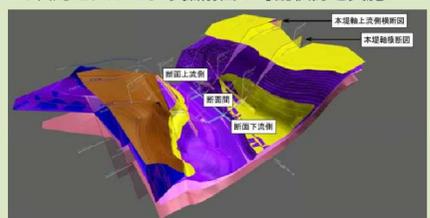
通信環境が無い現場において、  
衛星を介して通信環境を確保

移動時間の削減、複数現場立ち会いにおける人手不足の解消、  
コストの削減、コロナ対策など多くのメリットが期待される。

## 3Dモデルの活用

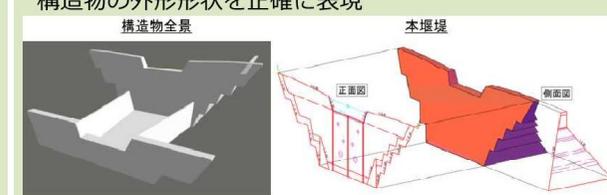
□地質モデル

3次元モデルにより掘削面の勾配検討を実施



□構造物モデル

構造物の外形形状を正確に表現



現地施工前に、建設予定の砂防堰堤の1回当たりのCo打設量や  
掘削後の地質断面等が容易に確認が可能となる。

- 令和4年8月3日から大雨により、荒川流域の多数の箇所において土砂崩落等が発生。管内の土砂移動状況を把握するため、飯豊山系砂防事務所において航空レーザ計測を実施。
- 取得した航空レーザ成果を用い、砂防(飯豊山系砂防事務所)・治山(置賜森林管理署、下越森林管理署村上支署)が連携し、流域流木対策を取り組んで行くことを確認。

## 令和4年8月3日からの大雨

令和4年8月3日から4日未明にかけて、山形県置賜地方、新潟県下越地方を中心に、下関雨量観測所では時間最大雨量148mmを記録するなど、非常に激しい大雨となり、荒川流域では甚大な被害が発生した。



流域内において表層崩壊が多数発生 土砂及び流木を砂防堰堤が捕捉

## 令和4年度までの実施内容

### ①航空レーザ計測の実施及びオルソの提供



荒川流域の大部分においてデータを取得済み

### ②流域流木対策をはじめとした事業連携協議

取得した航空レーザ計測成果を共有することにより、各機関の事業推進をはかるとともに、流域流木対策についても協議を開始

### ⑤連携の強化

・林務部局と砂防部局の緊密な連携を図るため、DX施策の実証実験を実施する工事現場の現地視察や勉強会などを連携して開催。



DX施策現地見学会(R5.7.27)、流木対策の勉強会(R5.8.3)を開催

## 令和5～6年度の取り組み

### ③荒川流域治水協議会での周知 (流域治水プロジェクトへの反映に向けて)

令和5年4月に開催された荒川流域治水協議会において、令和4年8月の大雨をふまえた流域治水プロジェクトの関連事業として、流域流木対策を推進していくことを共有。



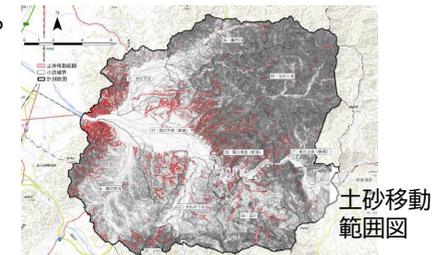
### ④航空レーザ計測成果の共有

・取得した成果は各林務部局(国有林事業者:置賜森林管理署、下越森林管理署村上支署)に貸与、被災からの復旧計画検討、森林経営管理等を目的とした森林資源解析に活用。



### ⑥流木対策対象流域の選定

令和4年8月豪雨にて土砂・流木の流出が著しい流域を、流域流木対策の対象流域に設定。



土砂移動範囲図

差分解析、オルソ等から判別、対象流域を抽出

## 令和7年度以降の予定

- 航空レーザ計測成果を用い流木量を定量化、流木の整備目標を達成するための計画を策定。
- その計画を基に、砂防・治山部局で事業を推進していく。一体的に事業を実施することで、流域全体の流木被害を防止・軽減する。

# 大規模な土砂災害に備えた合同防災訓練の実施

飯豊山系砂防事務所管内での大規模な土砂災害を想定し、管内関係機関と合同防災訓練を実施しました。当日は、リモート形式も活用し、国・県・市町村の関係機関から約40人が参加しました。令和4年8月3日からの大雨の状況を基にした被害状況に対する訓練で、災害発生時の各機関の対応について確認し、情報共有や連携の確認を行いました。

日時: 令和6年5月14日 13:30~16:40

会場: おぐに開発総合センター  
(山形県西置賜郡小国町)

参加機関: 小国町、関川村、山形県、新潟県、山形地方气象台、北陸地方整備局(河川部、羽越河川国道事務所、飯豊山系砂防事務所)

## 山形県小国町長より全体講評

出水期前に、国・県・市町村の関係機関が、荒川流域全体で訓練を実施したことは、大変有意義な訓練であった。



山形県 小国町 仁科町長

## 訓練中の様子



会場全体



各機関から発言中

( 会場参加者から )

( Web参加者から )



開会挨拶  
飯豊山系砂防事務所 渡邊所長



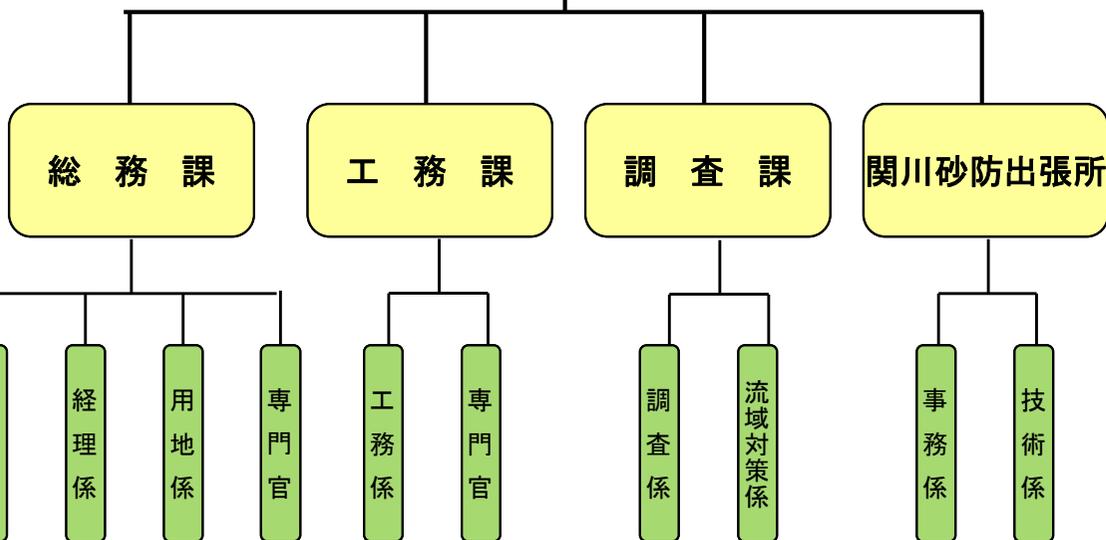
コメンテーター  
元国土交通省 砂防部長 亀江氏

## 令和7年度 実施予定

日時: 令和7年6月24日(火)

場所: 関川村 村民会館 大ホール

事務所長  
副所長(事務)・副所長(技術)



- ◆ 行政相談窓口 . . . . . 総務課
- ◆ 地域活性化・国際交流相談窓口 . . . . . 調査課
- ◆ 飯豊山系砂防広報窓口 . . . . . 調査課
- ◆ 総合学習相談窓口 . . . . . 調査課

### 事務所所在地

飯豊山系砂防事務所 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町3-48

TEL 0238-62-2566  
FAX 0238-62-2613



事務所HP URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/iide>  
X(旧Twitter) URL [https://x.com/mlit\\_iidesabo](https://x.com/mlit_iidesabo)

### 関川砂防出張所

〒959-3264 新潟県岩船郡関川村大字上関1303-2

TEL 0254-64-1369  
FAX 0254-64-0025